



謹賀新年

特養・ショート



ゆう遊刊





もちつき大会

新春の願いを込めて...





十二月二十四日に特養で、二十五日にはケアハウスで、餅つき大会を開催しました。「よいしょ、よいしょ」の掛け声に合わせて元気いっぱい横杵と千本杵を振り、丸めて鏡餅とおやつを作りました。新しい年、健康で楽しく過ごせますように。



H27.1.15
vol.21
発行所
愛親福祉会



ケア・デイ

十年目を迎えて



施設長 横堀 孝親

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
日頃より、私達ゆう遊館の運営に対しご支援を賜り心より御礼申し上げます。

昨年もご利用者様やご家族の皆様のお力添えを持ちまして、年間を通し、運営及び計画していた行事等を無事に実施する事ができました。心より感謝申し上げます。

さて毎年年頭には、「初心」にかえることを常に言葉にします。皆様と「共に生きる喜び」を分かち合いながら「生活の質の向上」を図るといふ基本姿勢を忘れることなく、どのような時でも、感謝の気持ちを忘れず「思いやり」の気持ちを持ち、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様の期待に沿うべく、地道に一つずつ、目の前のできることから取り組んで参りたいと思います。

弊法人も今年で十年目を迎える記念の年となります。平成二十七年八月には、特別養護老人ホームを二十床増床する予定であります。設立から今日までの間、日本国内においては高齢化が顕著となり、当該地域でも超高齢社会となっていると思われます。このような中、高齢者施設を運営している弊法人にとりまして、皆様から親しまれ、喜ばれ、地域社会へ貢献できる施設作りを目指し努力して参りますので、更なるご支援を心よりお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のご多幸とご健康を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

アン シュウリ 晏 愁李さん クリスマスコンサート



晏 愁李(アン シュウリ)さん 韓国出身
最新曲「天命(いのち)」等熱唱されました。



三味線演者 森真也さん 中学三年生 桑名歩美さん

桑名歩美さん(右)
郡山出身、紅晴美さ
んのような演歌歌手
を目指して頑張って
います。
森真也さん(左)
郡山出身、ジャズや
ロックとの共演もさ
れています。



Merry Christmas



十二月二十二日、
デイサービスにおい
て、歌手の晏愁李さん
をお迎えしてクリス
マスコンサートが開
催され、ご利用者様、
ご家族様他たくさん
の方々が楽しまれま
した。
まず最初に桑名さ
んの演歌と津軽三味
線の森さんの演奏か
ら始まり、次いで晏愁
李さんが登場され、楽
しいトークも交えな
がら笑い感動で
いっぱいのステージ
となりました。特に北
島三郎の「まつり」は圧
巻でした。



ご利用者様 ものがたり



この企画はご利用者様1人にスポットライトをあてて半生をご紹介します。

江川 ヒサ様

インタビュー
ケアハウス 生活相談員 小西親子

ー青春時代からお仕事のお話をお願いします。

江川さん: はい。須賀川市で育って、26歳で結婚をしました。主人の仕事関係で名古屋と東京にいました。名古屋では婦人交通指導員をしていました。

ー交通指導員とはどういうお仕事ですか？

江川さん: 信号機が無い時代だったので、子供たちが安全に横断歩道を渡るために交通整理をしていたの。笛と手だけだったから三叉路が難しかったですよ。今でもね、エレベーターに乗る時は癖で誘導しちゃうの(笑)。

ーやっていて良かったと思うことはありますか？

江川さん: 子供たちの笑顔を見るのは楽しかった。江川さんのおかげで元気に育っていますと親御さんから手紙をいただいたり、PTAからも感謝状をいただいたの。名古屋まつりのときに、交通安全のパレードがあって私が代表でブラカードを持って行進したの。新聞やテレビにも出たんです。いい思い出ですね。

※名古屋まつりとは、昭和30年に始まった名古屋の秋を彩る最大の祭です。

ーその後どういういきさつで東京へ行かれたのですか？

江川さん: 主人の仕事の都合で東京へ行きました。東京では江戸川区にある宇喜田第二保育園で保母をしていました。

ー保母さんのお仕事はどうでしたか？

江川さん: 子供たちがよくなついてくれてね。お母さんたちも信頼してくれて、他の先生もいるのに私に(子供を)置いていっちゃうのよ。子供が泣いたら、折り紙で腕時計を作ってあげてね、お母さんが迎えに来る時間を書いてあげると泣き止んだの。

ー退職の際の寄せ書きに「焼きおにぎりありがとうございました」ってありますが？

江川さん: それは独身の先生が早番の時は朝ごはん食べて来ないので私が焼きおにぎりを作って持って行ってあげたの。今でも上手に作れますよ(笑)



←寄せ書き

ー寄せ書きには沢山感謝の言葉がありますね。でもご苦労もあったでしょう？

江川さん: 私は苦労を苦労と思わないようにしてるのよ。何でも楽しく思い、感謝します。(笑顔)

ー保母さんは定年退職までやっていたのですか？

江川さん: いえ、主人が先に定年になったので一緒に須賀川に戻ってきました。でも主人はすぐに体をこわしてしまい看病もしましたが、他界してしまいました。

ーケアハウスにきてもう8年になりますね。居心地はいかがでしょう？

江川さん: すべてが最高です。もっと早く来ればよかったと思っています。

ー娘さんたちも東京からよく会いに来てくれますね。

江川さん: はい、週に2回は電話をしています。良い娘で満足していますよ。娘はゆう遊館と福島が大好きだと言っていますよ。

ー何か娘さんにメッセージありますか？

江川さん: 「ゆう遊館の方々が一生懸命に私のことをやってくれているから、私のことは何も心配しないでいいよ。自分の事だけを考えてね。」

ー江川さんは小さいことでも感謝されますね。いつもやさしく笑顔で接してくれるのでその人徳が周りの方を幸せにするんだと思います。これからもどうぞ宜しくお願いします。

江川さん: いえいえ、こちらこそ(照れ笑い)



ご紹介

昭和8年8月15日 81歳

須賀川市生まれ

略歴

ご主人の仕事関係で東京都、名古屋市と移り住み、それぞれの場所で仕事をされてきました。娘さんお二人を育て上げて現在もよく東京からお越しになるなど仲の良い親子です。いつも笑顔で感謝の気持ちを持って下さる方で、その笑顔に私たちは癒されます。



写真前列左

35歳頃。婦人交通指導員の写真です。白い手袋をして交通整理をしていたそうです。



東京で保母さんをしている写真です。子供たちにコマ回しを教えています。子供たちから大人気でした。

自分の話も載せてほしい！とご希望の方がおりましたら職員までご連絡ください。お待ちしております。

ケア・デイ

**みどり
幼稚園様
12.19**

**フルーツ
バイキング
11.17**

慰問

慰問

**石倉
民謡会様
12.4**

**特養・
ショート**

**寄せ鍋
12.17**

**ニューワンマン
オーケストラ様
12.2**

忘年会

1・ショート 12月19日
2・3号館 12月22日
4・5号館 12月13日

1
SS

2
3

4
5

柴田様、川田様、吉田
様にクリスマスソ
ングを歌っていただき
ました。

救命救急

～内部研修～



十二月十一日救命救急の内部研修を行いました。今回の研修は基本的なバイタルサインと応急処置に重点をおいて実施しました。

地鎮祭



平成二十六年十二月五日小雨降る中、当法人役員様、建設業者様にご出席を賜り、特別養護老人ホーム増床工事の地鎮祭が執り行なわれました。来年度の完成に向けていよいよ工事が始まります。完成が待ち遠しいです。

編集後記

今年の干支「羊」は群れをなし、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らす事を意味するそうです。

愛親福祉会にとっても平成二十七年度は特別養護老人ホーム二十床増床となります。新しい入所者様をお迎えする事を職員一同楽しみにお待ちしております。

さて、皆様は人との付き合い合いや外出が億劫になっ
てはいないでしょうか？
心当たりの方は是非趣味
や習い事等の楽しみを見つ
け、生活にメリハリをつけ
て、もう年だからの思考は
やめて自分なりの役割を持
つ事を心掛けてみてください。
若さをキープして健康で
元気に楽しく暮らす事がで
きるそうです。

広報委員 安達昌子

● 広報委員 ●
小西 秀明
「肝臓の
数値さておき 年酒呑む」
三橋 眞奈美
「部分やせ
やせたい部分が 大部分」
根本 きくみ
「健やかに
元気に一年 過ごしたい」
吉津 厚美
「何事も 前向きな気持ち
ケセラセラ」